

2 月定例会議事録

日時：2015 年 2 月 19 日(木) 15：00～

場所：ウィルアシスト

参加者：秋元・渡辺・速見・山倉・滝沢・熊木・轡田・水野・泉田 書記：丸山

UD 製品の認証マークについて（轡田氏）

サンプルを作成したが、文字が小さいため修正を行う。（誰にでも読みやすい文字の大きさ）

具体的に、文字の大きさや UD 2 1 にいがたのマークとのバランスなども

ユニバーサルデザインとして考慮したものとする。

→ストックバスターズで修正し、メールにて配布すること

UD 製品の認証マーク取得方法について（渡辺氏）

UD 製品の認証マークを取得する際のフローが確定しておらず、渡辺氏より提案があった。

具体的内容は配布資料を参考にする。

「赤ちゃんの駅」「畑の 3 役さん」などを事例として、内部的に認証までを行い具体例として早急に取り上げる。

その際に、認証までの流れや、内容の不備などを随時修正していくものとする。

以下、審議が必要な内容を箇条書きする

*表示に対するリスク回避の内容を作成する必要がある。

*表示マークの配布、また使用上の規定・注意事項を作成する必要がある。

*審査に対する、旅費や料金を制定する必要がある。

*内部で UD か判断しかねる際、外部に委託する場合。

*シールや、表示に対しての料金を制定する必要がある。

*認証製品・サービスなどの管理をする事務局が必要となる

（ストックバスターズ丸山氏が事務員としてボランティアとして活動して頂ける可能性あり）

*認証取得した際に、NPO としてメディアなどへ公開する手段を確立する必要がある

赤ちゃん駅について（熊木氏）

赤ちゃんの駅 1 式が新潟市役所こども未来課新潟市こども創造センターに納品された。その際に生じた不具合を修正することになった。

タイムリーな見積もりを提出するために

契約としては、最終的に UD 2 1 にいがたで見積もり、契約とする。それまでの期間は担当会社が責任を持ち見積もりを提出すること。

行政などとの支払について

取引先が行政などである場合、物品入札などがあり不具合が生じた。
後日、秋元氏が確認し、決定する。

- *赤ちゃんの駅として、1つのパッケージをUD認証の表示を取得しオプション制にする。
- *赤ちゃんの駅もUDの審査を受けること。
- *その他、UD要素がある商品の審査を行うこと。
- *商標登録など、リスク回避を行う必要がある。

名刺について（滝沢氏）

新規個人会員の名刺を作成し、配布した。名刺の追加は実費を請求する。

HAS プロジェクトについて（渡辺氏）

2月26日・27日にセミナーを行う。内容としては、魚沼市がCRCCを提唱しておりHASプロジェクトとして、プラチナ社会を提案する予定である。今回のセミナーでは、2030年を想定し、VEやバックキャストिंगの手法を駆使しアイデアを作成する。目標としては魚沼市に提案できるものを作成する予定である。

介護ロボットの委託事業について（秋元氏）

スマートスーツについて

今後、販促活動の一環として、参加企業にモニター提供し、アンケート・レポートを作成していただく。交通費、謝礼金などを支払いも予定している。

ヒューマノイドロボ「PALRO」を入荷することとなった。展示用に使用してものを安価に購入することができる。今後のビジネスに繋がるため、UD21にいがたとして購入する。

3月19日ロボットセミナーの報告（秋元氏）

前回の反省を活かし、ロボットの展示時間の増加・ロボット数を増加させた。また、参加者を募る際、後半からの参加・介護、福祉を除いたチラシの配布などを協力して行う。

自然科学館の展示について（水野氏）

自然科学館の一角にスペースがあり、UD21にいがたとして展示することが議案に上がっている。各企業が持っている科学的ノウハウを展示することが可能である。

次回会議

3月19日 ロボットセミナーの開催参加を3月定例会とする。